

# 予算決算審査委員会報告書

令和5年9月22日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和5年9月22日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第104号 令和5年度備前市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	あり



## 予算決算審査委員会記録

招集日時	令和5年9月22日（金）	本会議休憩中	
開議・閉議	午前9時38分	開会　～	午前10時19分　閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第4回定例会）の開催	
出席委員	委員長	森本洋子	副委員長　草加忠弘
	委員	中西裕康	土器　豊
		尾川直行	立川　茂
		西上徳一	石原和人
		山本　成	青山孝樹
		藪内　靖	松本　仁
		内田敏憲	奥道光人
		丸山昭則	
欠席委員	なし		
遅参委員	なし		
早退委員	なし		
列席者等	議長	守井秀龍	
説明員	市長公室長	今脇誠司	秘書課長 兼行財政改革課長　神田順平
	総合政策部長	梶藤　勲	危機管理課長　竹林幸作
傍聴者	報道関係	あり	
	一般傍聴	なし	
審査記録	次のとおり		

## 午前9時38分 開会

○森本委員長 おはようございます。

ただいまの御出席は15名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

それでは、本委員会に付託された議案の審査を行います。

議案第104号令和5年度備前市一般会計補正予算（第8号）についての審査を行います。

全体を通して質疑を希望される委員の発言を許可いたします。

○立川委員 そ6、7ページの寄附金、海外緊急支援金ということで100万円計上されておりますが、前にも申し上げたと思うんですけど、災害のいわゆる支援基準、今回も人道支援というてすばらしい言葉で書かれておるんですけど、じゃ、これモロッコだけなのかな、御存じのとおりリビアの水害、ハワイの火災、いろんなもが出てきていますので、これに対する支払いの基準、支援の基準、前ウクライナのときにも申し上げたんですけど、基準をつくられたらどうなんでしょうか、規程といいますか。そうしないと、今言いましたようにハワイはどうなるの、リビアはどうなるのということになってしまいますので、この支援金の有無じゃなくて、その支援基準、仮に緊急性があるものであれば、規則をつくっておけば専決処分もできるということにもなると思うんですけど、その辺の考え方はどうなんでしょうか。

○梶藤総合政策部長 支援の基準というお話ですが、各国の財政事情とか被害の状況等様々な状況があります。その中で、一定の基準というのを設けるということは今のところは考えておりませんので、その都度庁議等で諮りながら決めてまいりたいと考えております。

○立川委員 その国の財政基準ではなくて人道支援なんでしょう。人命を何とかしよう、72時間の壁を何とか突破しようというのが世界の動きじゃないですか。だったら備前市として支援するのは、それはもうそれですばらしいことだと思いますし、やればいいと思うんですけど、こういったケースには支援するよ、こういったケースにはもう迅速に行くよというものがあってもいいんじゃないですか。今その都度都度とおっしゃいましたけど、じゃ、それが見えないじゃないですか、市民に。市税を使って、いわゆる支援金を送るわけですから、こういうときには備前市は行くんですよ、こういうことで検討して、例えばです、ちょっとした委員会をつくられて、ここで討議をして、これで決めたら行くんだと、早いなということのほうが支援金としての趣旨、国際貢献、社会貢献、そういった意味でしないと、今おっしゃったようなことでもう変な話、思いついた、ほんならこれやっとかかになってしまうじゃないですか。まないたの上上げる、材料としてどうしましょうというのをやはりある程度のものがなければ、その俎上に上げられないじゃないですか。そういった意味での規則といいますか、基準と、もうそのときそのとき行き当たりばったりでやるという今の答弁になりますけど、そう解釈したら残念じゃないですか。多少お考えはいただけないものなんでしょう。

○梶藤総合政策部長 委員おっしゃられること、非常によく分かります。その中で、今回におき

ましても、例えばリビアもちょっとお話が出たと思いますが、リビアにおきましてもすごく被害が出ているというような状況であります。その中で、やっぱりリビアの政情を考えますと、2つの政府があるというような状況の中で、じゃ、どこに支援すればいいのかとかというような状況がまだなかなか不透明な状況でありますので、そういう中で支援というのはなかなかできないとか、そういうことがいろいろ生じてきますので、一定の基準というのは今のところはなかなか設けれていないというのが実態でございます。

**○立川委員** ただ、政情不安を除いても、人道支援でしょう、お題目は。であれば、そういった今言った検討をなされるところで、この規則に照らし合わせて備前市は今回見送っています、これが透明化、説明責任じゃないかと思うんですけど。だから、つくるように研究してみたらどうですか。どうしても、密室で上がったやつだけ上げてくるという姿勢は変わらないですか。

**○梶藤総合政策部長** 今回におきましても、庁議で諮った後、議案として上げさせていただいて、このような形で委員の皆様いろいろなお話をさせていただくというような場を設けた後で支援というような形を設けさせてもらっております。そういう形でこれからもできたらと思いますので、御理解のほどよろしく願いいたします。

**○立川委員** 庁議に議題として上げる物差しが必要なんじゃないですかということです。

**○今脇市長公室長** 庁議、それから部課長会議、私が主催しているのが部長等会議というのも主催しているんですけども、直近でこういうのがありますと、もうそこですぐに諮って、日本を除いて世界で195か国ありますけど、災害が起こったらすぐに協議をして、そこに支援の手を伸ばすということを考えていきたいなと思っています。

先ほどのリビアの件なんですけども、政情不安ということで暫定政府と既存が分かれているということでなかなか物資も届きにくいということで暫定政府からは届いているというところもありますけども、井原市なんか日赤を通じてということだけのルートになっていますので、井原市なんかそういうところで募金箱設けてやっております。

以前のトルコ、シリアとかでもそうなんですけど、シリアが政情が不安定ということで、なかなかの政情不安定なところに物が届きにくいようで、そこにして効果が果たしてあるのかなということで、おっしゃるように72時間早く届けたいというのはもちろんありますけども、支援を待っていて亡くなっていく子供たち、それに早く支援の手が伸ばせれるように災害があったらすぐに庁議等で協議して、金額についてもその国の経済情勢とかがありますし、レートのこととかGDPのこととかありますんで、そういうところも勘案して庁議の場で個々具体でここは何が必要かというのを検討して物資が行ければ一番いいんでしょうけども、日本からですとお金がどうしても届けるのが簡単だろうと、そういうところで個々に協議をして最大の支援をして、ほかの自治体がしないところなんで、あろうかあろうかと思えますけど、備前市はもう率先して手を差し伸べていくというのを考えております。

**○尾川委員** 今基準があったんですけど、それから金額の100万円という金額はどういう根拠

で100万円と決まったのか。それはまた今言う任せてくれと言われりゃ、こっちがとやかく言う問題じゃないかも分らんけど、私らすぐ今まで会社なんかだったら横並びとか、よそがどうしようとかというようなことを考えたりするんじゃないけど、その辺の金額のまずは基準というのはどういう算出根拠か教えてもらいたいんですけど。

**○梶藤総合政策部長** 他市の状況というのは把握しておりません。前回海外の支援ということで、ウクライナに1,000万円支援させていただいております。そういうことも含めて、国のその当時の支援の状況とか、あとその国のGDPとかを勘案して前回の10分の1の100万円が適当という形で今回決めさせていただいております。

**○尾川委員** 今10分の1と言ったんじゃないけど、何で10分の1になるわけ。どういう根拠になるん。

**○梶藤総合政策部長** 前回国の支援した金額が、ウクライナに行った額が大体45億円強ぐらいで、今回国がモロッコに支援しているのが大体4.4億円ぐらいです。それを比べながら、大体10分の1になっているというような状況の中で、市としても10分の1というような形での判断ということで御理解いただけたらと思います。

**○尾川委員** 基準がないというけど、やっぱり基準をつくるべきだと思うな。例えば日赤の派遣とかAMD Aの派遣とか、そういう場合にどういう行動を起こすか、やっぱり備前市だけ突出しようとは言わんけど、備前市レベルの3万や4万の市がよそもしようと思うんじゃないけど、それじゃ国内のああいいう水害問題どうするんならと、どっちを優先していくんかというときに、そりゃ外国を放ときゃええ、国内優先じゃというんじゃない通らんのかも分らんけど、国内のことを考えたり、お互いに近隣の自治体じゃったとしたらどうなるんかとか、まずは隣近所だと思うんで、その辺で基準をつくるべきじゃないかと思う。今つくるような雰囲気はなかったんですけど、私はあえてやっぱりどういう根拠で出すんか、AMD Aが派遣された、あるいは日赤が派遣されたとか、何かのそういうものでもって、あるいは死者が何ぼであるとか、要するに被害の程度のどうじゃとかというものでつくっていくべきじゃと。金額については今10分の1じゃから1,000万円が何で1,000万円ならということになるんじゃないけど、10分の1ということで100万円という、そういうことを庁議で決めたんかどうかわかんけど、その辺を明確にする、もう一遍基準をつくる気持ちはないんですか。

**○梶藤総合政策部長** おっしゃられるように基準があれば非常に説明もしやすいですし、進めやすいとも思います。でも今のところすぐに基準をつくるという話にはなっておりませんが、今後庁議の場でそういうことも話し合っていければなと思います。

**○中西委員** この細部説明の中で、海外緊急支援金という名前が使われているんですけど、これは備前市の制度としてはどういうものがあるんですか。

**○梶藤総合政策部長** 私の知る限りで、決まった制度というのを設けているというようなことはないと思います。

○中西委員 備前市にはこの制度はないと、このお金の緊急支援金の繰り出しの基準、さっきから問題になっていましたけど、要綱なり、あるいはその何か事務の取扱いの文書というのは備前市にあるんですか。

○梶藤総合政策部長 今のところ要綱というのは設けておりません。

○中西委員 要綱じゃなくても何でもいいですけども、何か文書はあるんですか。

○梶藤総合政策部長 この文書でもって出すというような形の文書自体は今はないと。

○中西委員 庁議にはモロッコだけがかかったと、これまでリビアとかハワイのは庁議には上がってない。

○梶藤総合政策部長 リビアについては同様な時期でありましたので、庁議の場でも話は上がりました。ハワイについては、今回は上がっておりません。

○中西委員 ハワイについては上がってないと。公金を支出する場合の繰り出しの基準というのを、あるいは繰り出しの要綱を定めがないと、何でもかんでもお金を出すということにならないんじゃないかな。そこは問題がないのか、聞いておきたい。

○梶藤総合政策部長 定めがないのかということですが、そういうこともありまして、今回庁議に諮りまして決定したということでございます。

○中西委員 庁議に諮ってということですけども、備前市に定めがないというものを出すのはいかがなものかと。

○今脇市長公室長 先ほどからのお話で、一定の目安というものはあってもいいのかなとは確かに思っております。こういう事例については政策決定の場が庁議の場ですので、そこでこういうことがあったんだけどどうするかということで政策としてこういうことに支援積極的にしていこうと、海外であっても国内であっても困っているところはお互いに助け合って、そういうのを進めていこうということで話し合っていくところにしております。ほかの自治体も含めて、研究はしていく必要があるかと思っておりますけども、こういうことに対して一定の基準で出すというのも、それが正しい選択肢かも分かりませんが、ある程度広いスタンスで対応するようにしないと寂しい感じもいたします。できればもうすぐに政策決定として議会含めて皆さんの合意で積極的に支援していこうと、国も越えて国境のない自治体ではないですけども、どんどんお互いに支援していけるような世の中になったらいいかなと思っておりますので、目安については少し研究はしていく必要があると思っておりますし、それから繰り出しというものではちょっと違うのかなと思っておりますけども、そういう基準というところも一定のものはもって、ほかの自治体ももちろん研究して考えていけばいいかなと思っておりますけど、困っているときですからまずは先ほどの72時間じゃないですけど、72時間に支援が備前市からすぐ届くわけじゃないですけども、すぐに直近の会議の場の中で決めて政策として支援していくということで考えていきたいなと思っております。

○中西委員 かつて片上大池のため池の堤防が壊れて下流域の民家が床下浸水をしたと、見舞金を出したいと、ついてはこういう要綱をつくって、つまり床下浸水はそんなにそのときの金額は

たしか80万円だったと思うんですけども、その80万円の見舞金を出すために備前市は要綱をわざわざつくって、こんなので出してもよろしいでしょうかということを私は言われて、しかしそれは一般的な床下浸水の見舞金とは違うと、住民監査請求を私はさせていただいて、監査委員もそれは認めて違法な支出だということで返還の監査委員の意見が出たというのが私は記憶に残っています。時の市の執行部は、議員にそういう形でわざわざ要綱をつくって皆さんに見せて、これで支出してもいいかどうかというのを聞いて回ったと、ぐらいのことはしていたんですけど、今回は金額にすれば100万円になるわけなので、そういうものがあるべきではないかなと私は思います。これは繰り出しの基準がない以上、違法な公金の支出と言われても仕方ないんじゃないかと思います。

その上で、海外緊急支援金はどこの誰に渡すんですか。

○梶藤総合政策部長 今検討している状況でございます。

○中西委員 金額だけ決めて、どこに出すのかまだ決まってないなんていうのは、そんなお粗末な話は私はやめてほしいと思うんです。どこに出すということは、この中できちっとしとってもらわんと、この議会で議決するわけですから、まだ行き先も決まらないなんていうようなことにはならないんじゃないかな。

○今脇市長公室長 モロッコについては窓口として今ユニセフと赤十字と国境なき医師団、それからピースウィンズ・ジャパン、AMD A等々あります。その中で、メディアの窓口ももちろんありますので、そういう中で御議決いただいたら前回は分けたこともありますけども、そういう中でしっかり検討していきたい。今一番どこが最新で早く届くかということも含めて検討していきたいと思います。

それから、先ほどの要綱の話がありましたけども、備前市内であれば行政法の建前で侵害留保の原則というのがありますけども、法で定めて条例等で定めて出すというのはこれは大原則ですけども、これお見舞金も含めたとにかく人道支援で早く出そうというもので、先ほどのように規模の話もありますし、いろんな状況があってこれとにかく早く瘦せていくような子供たちに早く届けたいというようなあれなんで、ちょっとそういう法で云々かんぬんというのとは違う気持ちのものかなと私は思います。

○中西委員 先ほどの尾川委員の説明の中で、GDPなんかを比較して決めましたというふうにおっしゃられたんですけど、GDPはモロッコとウクライナではどのくらいなのでしょう。

○梶藤総合政策部長 ウクライナの70%ぐらいがモロッコと把握しております。

○中西委員 70%だとすると、その10分の1ということにはならないんじゃないかな。

○梶藤総合政策部長 70%というのが政府の金額をウクライナの金額を70%したのが大体47億ドルぐらいということで、その47億ドルがウクライナに政府がしたというのを一つ頭に入れていただいとって、今回モロッコに政府がしたのが大体4.4億ドルということで政府が10分の1をしているということで、市として1,000万円の10分の1の100万円というよう

な形で御理解いただけたらと。

○中西委員 GDP比にするとかなりの差があるということだけは私は分かります。しかし、10分の1ということにはGDPだけを比較すればならないんじゃないかと、GDPだけを比較すると。これはしかし、住民監査請求受けた場合にはどうされるのか、そこだけお伺いしておきたいと思います。

○梶藤総合政策部長 内容等を確認してそういうことがあれば対応していくというような形になると思います。

○石原委員 もし可決されればどういう形でいつお渡しされるのかということをお尋ねしようと思うんですけど、先ほど中西委員の答弁でもございました。今し方まで御説明の中で、とにかく国の何かウクライナ支援、このたびモロッコですけれども、一つの何か参考値としてウクライナの今回約10分の1程度の支援を国のほうが行っておるといってお答えでしたけれども、じゃ、庁議で決められるんでしょうけれども、世界のどこかで大変なことが起こったときに備前市としてはとにかく何か国の日本の日本国の支援状況を鑑みて、いかほどの支援をすべきかというような形で話し合いがなされて決定されているんでしょうか。

○梶藤総合政策部長 まず、おっしゃられるように国が支援しているというのが一つは必要な部分かなとは思いますが。国も支援してないのに市独自ということは、なかなか難しいかなと思います。金額につきましては今回参考値ということで、国の支援額と比較をさせてもらいました。そういう形で、国の支援額等ある程度そんなに今までの比較の中で変わらないという状況というのが必要に説明はしやすいのかなと思います。説明しやすいような形で、今後できるようなものの中では、市の中で話し合っただけ金額等決めていければなどは考えております。

○藪内委員 今ずっと聞いていますと、やはり規程を設けるであるとか、数値をどうこうというのは非常に難しいと思います。被害の状況、政治情勢、いろんなことを考えるとこれってというパターンがないんで、またこれ市のいろいろな福祉関係でも当たりますが、規程を決めるとそのぎりぎりのラインのところにかかる、かからないで大きな差が出たりするので、やはりそれはもう少しそのハワイが今回のけられたというようなことがないように、庁議には全て上げていただいて、そこで多分ここで話すようなことは執行部の皆さんで同じような話がなされると思うんですよ。これはどうですか、こうですか、こういう状況なんでということは話をされると思うんで、あまり規程というのは先ほどから梶藤部長言われている目安というのはやっぱり要ると思いますけど、規程だとちょっとがちがちになっているんなことに対応しにくいんじゃないかと私は思います。

○今脇市長公室長 全くそのとおりの考え方であります。アメリカのハワイを除いた理由についてなんですけど、その直前にGDPなんか、やっぱりそういうの関係するよねという話もあって、アメリカのGDPって23兆アメリカドルになっていまして日本が4,941兆、ドル立てですけどアメリカドルという感じで、日本よりGDPがかなりの大きさに差がありますんで、そ

こに支援は言ってしまうえば国内でやってもらうと言うたらおかしいですけども、後進国に手を伸ばそうかなというところで、トルコのときもそういうのがちょっと働いたとは思んですけども、そういうのが一つの要因であったり、それから政情不安定なところというのはなかなかリビアとか、それからシリアですか、届きにくいかなというのがあったりして、そこは逆に武器に変わっても困るようなところもありますから、だからそういうのでやめているようなところがございいます。

**○藪内委員** 今室長言われたように、やはり私いつも疑問に思うんですけど、寄附したり支援金を送っても、本当何%が届くのだろうかと、本当に必要とされているところに、それがあまり確認できないと、だからそれを言っていくと全部なしにすればみたいな話になるし、人道的というのを言えばあれはする、これはしないじゃなく全部しないといけないし、ですからそこはもう本当申し訳ないですけど一件一件丁寧に慎重に話をされて周りの状況も見て決めるのがよろしいんじゃないかと思うんですが。

**○今脇市長公室長** 今御意見いただいたように、こういうところを気にして絞り込んでいくところはあってもいいのかなと思います。井原市がシリアにすぐ募金箱をシリア向けの募金箱を作ったというところで、これ岡山県の日赤しか窓口がシリアはなかったわけです。それは政情が不安定だからというところで、日赤ルートしかないというようなことだったろうと思うんですけども、こういうふうに積極的に取り組む自治体というのはすばらしいと思います。むしろしないところのほうがどうかなと私は思ってますんで、これからも積極的に国内も海外もやっていけたらと思っています。

**○尾川委員** その庁議の議事録の公開というのは考えとらんのかな。庁議というのは、最高方針決める場所じゃわな。それがクローズになって誰がどういう発言があったとか、どのくらい時間かかったとか、やはりこれに限らずそういうものを考えはねんかな。今のところ公開するというのはこっちもそこまで探ったことねんじゃけど、あれたしか規程はあったと思う、庁議規程というのは。その中身で、そういう公開ということは要綱からするという事は考えとらんのかな。

**○今脇市長公室長** 政策決定の過程ということで、議事録的にはもう残しております。公開については種々その内容にもよりますでしょうから、一概には言えないところはあるかも分かりませんが、少なくとも庁議の要点録、議事録等については庁舎の中では回覧のようなもので流すという形は取っておりますので、全く秘密会議というわけではございませんので、そういうこともしこの部分をというのがあれば出していけると思います。

**○尾川委員** この機会に議会関係は委員会を全部公開してテレビ中継もしょんじゃから、庁議だってテレビ中継するぐらいのオープンにしてはつきり決めて市民に見える形で重要事項は、そういうふうに方向転換すべきじゃ、クローズにして何となし決まって今言う議事録でこう決まりましたという、報告はそれでええけど、やっぱりその経緯、どういうふうに決まり方しとんじゃろうかというのは非常に大事だと思うんじゃ。その辺で発言もどの程度あったんか、そういうこと

を知りたいわな。そういうことで、規程が自分らがせなんだら誰がほんなら請求するんかと、要求するんかということを知民がそういう活動すりゃえんかも分からんけど、その辺を検討してもらいたいんですけど。

○**今脇市長公室長** 個々内容にもよるところはあろうかなと思いますけども、そういうことも視野に入れて検討していきたいなと思います。

○**中西委員** 県内の15市のモロッコの海外緊急支援金というのはどういう状況になっているか、お調べになっておられますか。

○**梶藤総合政策部長** 幾つかの市で日赤に取り次ぐと、募金箱を設けたり日赤に取り次ぐというようなことをホームページで出しているというようなところがあったのを確認はさせてもらっています。

○**中西委員** 要は備前市と同じように公金を支出しているところはないと。

○**梶藤総合政策部長** 公金を支出しているかどうかについての記述とかについては、まだ確認はできておりません。

○**中西委員** つまり調べてないということですか。

○**梶藤総合政策部長** 幾つかの市役所に問い合わせても、予算で計上しているというようなことはおっしゃってはおられませんでした。

○**中西委員** あと緊急支援金ですから、市が公金で出すというものもありますし、義援金ですから広く市民に呼びかけて募金箱とかで訴えると、そういうことは備前市では全く考えておられないんですか。

○**梶藤総合政策部長** 募金箱につきましては、モロッコ、リビアについての募金箱を本庁の1階に設けております。

○**中西委員** 本庁だけですか。

○**梶藤総合政策部長** 今は本庁だけですが、今後考えてまいります。

○**石原委員** すみません。令和4年2月定例会の追加でさっきありましたけど、ウクライナへの1,000万円ですか、この提案ございまして可決されましたけれど、そのときの細部説明なりでも今回と全く同じ文言で、起きた内容は全然違いますけれども人道支援のための海外緊急支援金という名目で支出がなされておりますが、海外緊急支援金なる支援はこれじゃ、僕も記憶が定かじゃないんですけど、備前市においてはそのときのウクライナと今回モロッコが2回目ということによろしいですか。過去にどうなんですか。

○**梶藤総合政策部長** 私の記憶の中では今回が2回目と記憶しております。

○**立川委員** 先ほどの執行部の御答弁なんですが、ハワイの例が出ましたけど、アメリカ系では肥沃だから考えてないよ、ハワイの分、えっ、これって経済支援なのかなという思いがありましたので、この海外緊急支援金は人道支援なんですか、経済支援なんですか。どちらかちょっと確認をさせてください。

○梶藤総合政策部長 人道支援という形で理解していただければと思います。

○立川委員 そういうことでしたら、答弁のほうも経済的な経済が肥沃しているからいいよとか、ちょっと我々紛らわすような答弁はできたら控えていただけたらありがたいんですが。

○今脇市長公室長 経済をという発言は私はしてないつもりなんですが、目安でGDPの話が出たので、GDPのことをかけて言っただけで、経済が豊かなところだからというふうにももちろん取れるんですけども、実際はそういうところのお金をむしろ回したいと、後進国に回したいというような気持ちで考えているということで、ハワイも非常に大変なことになっているし日系人もおられるところですから、すぐさま思ったわけですけども、その後これが、この今回の分があって、それからリビアもあって、さてさてという中でリビアも本当は送りたいというところもあるんですけども、政情のことを考えてモロッコだけにしているというようなところでございます。決して経済情勢がというのは一つの先ほど目安の話があったので、その中で引用させていただいたというところでございます。

○西上委員 国、また県の基準は設けておられるのか、その辺分かりましたら。

○梶藤総合政策部長 国、県の基準について、どういう基準で金額が決まっているかというようなことについては、確認はさせていただいておりません。どこまでの基準があるかも、私どもは把握しておりません。

○西上委員 国が今回出された金額を基準にして出されたということで、それが執行部の基準ということで私はもうこういう考えでいいと思います。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中西委員 採決の前に、ちょっと休憩を取っていただけませんか。

○森本委員長 暫時休憩いたします。

午前10時16分 休憩

午前10時17分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

以上で議案第104号に対する全ての審査を終了いたします。

それでは、これより議案第104号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」「異議あり」と呼ぶ者あり〕

御異議ありということです。

それでは、ただいまより議案第104号を採決いたします。挙手により採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数でございます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

少数意見の留保を希望される方。

○中西委員 まず、繰り出しの基準がないと、それから寄附先が決まっていないのは認められない。

○森本委員長 ただいまの御意見に賛成の方の挙手を求めます。

[賛成者挙手]

所定の賛成者がありましたので、少数意見は留保されました。

直ちに少数意見報告書を作成の上、委員長まで提出を願います。

以上をもちまして議案第104号の審査を終了いたします。

ありがとうございました。

午前10時19分 閉会